



村上友重《所有の方法 観察(花2)》2021年



黒田大スケ《団圓のためのフランクダンス》2022年 photo: 大塚敬太+福口俊太

広島市現代美術館 コレクション展 2023-I
コレクション・リレーションズ

[村上友重+黒田大スケ：広島を視る]

2023 7.1 SAT - 11.12 SUN

Collection Relations



加藤立 (I am a museum) 2019年、広島市現代美術館蔵 Courtesy of the artist ©Ryu Kato



広島市現代美術館 コレクション展 2023-I
Hiroshima City Museum of Contemporary Art
Collection Exhibition 2023-I

2023 7.1 SAT - 11.12 SUN

COLLECTION HIGHLIGHTS

コレクション・ハイライト
[ウェルカムバック][作家/スタイル][ヒロシマと現代美術]
[Welcome back][Artists' styles][HIROSHIMA and Contemporary Art]

Collection Relations

コレクション・リレーションズ
[村上友重+黒田大スケ：広島を視る]
[Guest Artists: Tomoe Murakami, Daisuke Kuroda]

広島市現代美術館 コレクション展

2023-1

長期休館とリニューアル記念特別展を終え、このたびいよいよコレクション展が再開します。本展は第1室から第4室にかけて、当館コレクションの特質に親しんでいただくとともに、関連するテーマに沿った展示を紹介するものです。第1から第3室にかけては「コレクション・ハイライト」として、それぞれの部屋に添えられたキーワードを通して収蔵作品をご覧ください。そして、第4室では「コレクション・リレーションズ」と題し、展示内容をコレクションに限定せず、当館の収集方針や収集された作品、あるいは、広島という地域などと関連した、コレクション展示の延長線上に位置づけられる企画を実施していきます。



COLLECTION HIGHLIGHTS

ウェルカム・バック

休館中の館外活動で役割を担った作品、あるいは作家による作品から紹介しています。平野薫は平和大通りに面した展示空間であるエビデンギャラリーにて、コレクションとは異なる作品展示「傘」を行いました。また、三宅一生、加藤立、横尾忠則、草間彌生らの作品は、市内各所で開催した当館のコレクション展示にて紹介したものです。なかには、そうした機会に触れ、親しみを持ってこれらの作家、あるいは作品に出会いなおす方々もいらっしゃるかも知れません。印象の違いや、変わらぬ持ち味、あるいは、休館中の人々との出会いを思い描きながらお楽しみください。

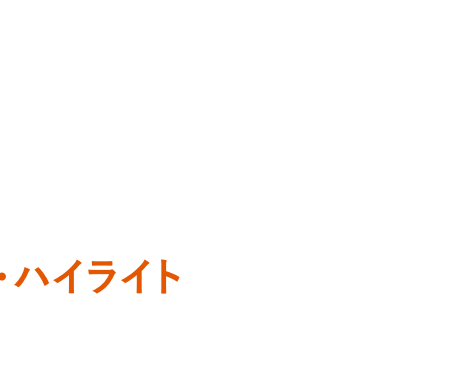


Collection Relations

村上友重＋黒田大スケ「広島を視る」

写真を主な表現手段とする村上友重と、近現代彫刻に関する調査をもとに映像作品を手がける黒田大スケの二人をゲストアーティストに迎え、広島との関わりのなかで生まれた作品をとおして、各々の視点から見出された広島をご覧ください。村上は、物質が光に反応し変質する現象に関心を寄せ、カメラを用いない方法を含む、幅広い写真技術を活用します。彼女は広島で、紙に塗布した薬

品を感光させる「光の採集」ともいえる行為や、光を受けて生育する植物の観察を行いました。他方、黒田大スケは、広島の平和記念公園周辺などに設置される彫刻を題材とし、その作者や制作の背景に関する調査をすすめます。こうして得られた情報をもとに、それら彫刻家達に成り代わり、ユーモラスに心情を吐露する演技を映像におさめました。2022年1月から2月にかけて、当館の休館中プロ



「ヒロシマ」と現代美術

広島について、被爆地としての特質を意識して語られる際、しばしば「ヒロシマ」とカタカナで表記されます。当館の収集方針のひとつに「ヒロシマと現代美術の関連を示す作品」があります。そこには、3年に一度開催している「ヒロシマ賞」の受賞作家のように、原爆被害にとどまらず、戦争や平和、あるいはより広く、人間の苦悩や喪失に向き合う作家の表現も含まれています。また、「ヒロシマ」をテーマとした制作委託による収集も行ってきました。これらの作品が映しだすのは、被爆地としての広島であるばかりではなく、その歴史に関連づけながら見えてくる世界の姿でもあります。

Hiroshima City Museum of Contemporary Art Collection Exhibition



前期展示：7.1-9.3
後期展示：9.5-11.12
展示作品は変更となる場合があります。

「ヒロシマ」と現代美術

広島について、被爆地としての特質を意識して語られる際、しばしば「ヒロシマ」とカタカナで表記されます。当館の収集方針のひとつに「ヒロシマと現代美術の関連を示す作品」があります。そこには、3年に一度開催している「ヒロシマ賞」の受賞作家のように、原爆被害にとどまらず、戦争や平和、あるいはより広く、人間の苦悩や喪失に向き合う作家の表現も含まれています。また、「ヒロシマ」をテーマとした制作委託による収集も行ってきました。これらの作品が映しだすのは、被爆地としての広島であるばかりではなく、その歴史に関連づけながら見えてくる世界の姿でもあります。

作家／スタイル

2-1 草間 彌生 The Man 1963 ミクストメディア 134.5×83.5×43.5

2-2 イヴ・クライン 人体測定170 1960 顔料・キャンバスに裏うちされた紙 167.0×123.4

2-3 イヴ・クライン ブルーのピーナス 1970 顔料、合成樹脂 69.0×32.0×26.0

2-4 アンディ・ウォーホル マリリン1 1967 シルクスクリーン・紙 91.0×91.5 前期のみ

2-5 アンディ・ウォーホル マリリン2 1967 シルクスクリーン・紙 91.0×91.6 前期のみ

2-6 アンディ・ウォーホル マリリン3 1967 シルクスクリーン・紙 91.8×91.5 前期のみ

2-8 アンディ・ウォーホル マリリン5 1967 シルクスクリーン・紙 91.7×91.0 前期のみ

2-9 アンディ・ウォーホル マリリン6 1967 シルクスクリーン・紙 91.6×91.0 後期のみ

2-11 アンディ・ウォーホル マリリン8 1967 シルクスクリーン・紙 91.2×91.1 後期のみ

2-12 アンディ・ウォーホル マリリン9 1967 シルクスクリーン・紙 91.0×91.6 後期のみ

2-14 マグダレーナ・アバカノヴィッチ デッサン 1981 木炭・紙 99.9×75.4

2-15 マグダレーナ・アバカノヴィッチ 立つ人 1987 インク、鉛筆、カラー ジュ・トレーシング ペーパー 171.2×40.5×30.0

2-16 方 力鈞 96・N0.1 1996 油彩・キャンバス 230.0×180.0

2-17 李 禹煥 線より#80066 1980 岩彩・キャンバス 181.4×227.3

2-18 田中 敦子 作品 1959 アクリル、油彩・キャンバス 220.2×184.8

2-19 福島 秀子 作品90 1961 油彩・キャンバス 225.0×182.0

2-20 ルイーズ・ニーヴェルソン 夜の交響曲 1986 インク、鉛筆・トレーシングペーパー 着色・木 202.5×198.5×20.5

2-21 吉澤 美香 をー49 2004 アクリル、グワッシュ・合成紙 218.3×236.4

2-22 吉澤 美香 をー50 2004 アクリル、グワッシュ・合成紙 218.2×236.5

2-23 日高 理恵子 空との距離I 2002 岩絵の具・紙(麻紙) 240.0×240.0

2-24 金氏 徹平 Splash and Flake (Pipeline #3) 2009 木、プラスチック製品、金属製品 可変 作家より寄託

2-25 井上 武吉 my sky hole No.9 1979 インク、鉛筆・トレーシングペーパー 84.2×61.4 後期のみ

2-26 井上 武吉 my sky hole No.13 1980 インク、鉛筆・トレーシングペーパー 86.5×76.4 後期のみ

2-27 井上 武吉 my sky hole No.17 1980 インク、鉛筆・トレーシングペーパー 100.7×79.4 前期のみ

2-28 井上 武吉 my sky hole No.20 1980 インク、鉛筆・トレーシングペーパー 100.7×79.4 前期のみ

2-29 井上 武吉 my sky hole No.82 1980 インク、鉛筆、カラー ジュ・トレーシング ペーパー 100.3×80.3 前期のみ

2-30 井上 武吉 my sky hole No.6 1979 インク・トレーシングペーパー 78.3×57.5 後期のみ

2-31 井上 武吉 my sky hole No.11 1979 インク、鉛筆・トレーシングペーパー 84.3×61.4 後期のみ

2-32 井上 武吉 my sky hole No.14 1980 インク、鉛筆・トレーン

2-33 井上 武吉 my sky hole No.16 1980 インク、鉛筆・トレーン

2-34 井上 武吉 my sky hole No.18 1980 インク、鉛筆・トレーン

2-35 丸木 位里、丸木 俊 原爆の図第3部「水」(再制作版) 1950-51(後年に加筆) 紙本彩色 180.0×720.0 前期のみ

2-36 若林 奮 DOME 1988 鉄 360.0×425.5×220.0

2-37 若林 奮 水鏡 1997 鉄 28.0×361.0×180.0

2-29 武吉 井上 sky hole No.82 1980 インク、鉛筆、カラー ジュ・トレーシング ペーパー 100.3×80.3 前期のみ

2-30 武吉 井上 sky hole No.6 1979 インク・トレーシングペーパー 78.3×57.5 後期のみ

2-31 シルクスクリーン・キャンバス 181.5×227.2

3-11 殿敷 侃 HYDROGEN BOMB(2) 1981 シルクスクリーン・キャンバス 181.5×227.2

3-12 高松 次郎 影の母子像 1987-88 油彩・キャンバス 204.7×290.6

3-13 アルバナ・カウル 花はみんなどこへ行ってしまったのか 1995 油彩・キャンバス 175.0×366.0

3-14 堂本 右美 CALM(静けさ) 2002 油彩・キャンバス 194.0×259.00

3-15 福田 美蘭 ニューヨークの星 2002 アクリル・パネル 182.0×227.5

3-16 唐 大霧 片手の折りプロジェクト 1996 アクリル・コールドテン 鋼 260.0×261.0×200.0

3-17 青木 野枝 晴玉1 2004 コールドテン 鋼 260.0×210.0×230.0

3-18 青木 野枝 晴玉2 2004 コールドテン 鋼 258.0×155.0×170.0

3-19 青木 野枝 晴玉3 2004 コールドテン 鋼 290.0×180.0×210.0

3-20 諏訪 敦 HARBIN 1945 WINTER 2015-16 油彩・キャンバス、パネル 145.5×227.3

3-21 諏訪 敦 HARBIN 1945 WINTER (エスキース) 2015 段ボールに墨 112.0×176.0

3-6 若林 奮 DOME 1988 鉄 360.0×425.5×220.0

3-7 若林 奮 水鏡 1997 鉄 28.0×361.0×180.0

コレクション リレーションズ

村上友重＋黒田大スケ「広島を視る」

《Treatise on Light_HR0046》2021 アーカイバルビッグメントプリント 100.0×120.0 作家蔵

《Treatise on Light_HR0188》2021 アーカイバルビッグメントプリント 100.0×120.0 作家蔵

《Treatise on Light_HR0296》2021 アーカイバルビッグメントプリント 120.0×100.0 作家蔵

《Treatise on Light_HR0090》2021 アーカイバルビッグメントプリント 60.9×76.1 作家蔵

《Treatise on Light_HR9911》2021 アーカイバルビッグメントプリント 60.9×76.1 作家蔵

《Treatise on Light_HR9855》2021 アーカイバルビッグメントプリント 40.5×50.7 作家蔵

《Treatise on Light_HR0109》2021 アーカイバルビッグメントプリント 40.5×50.7 作家蔵

《Treatise on Light_HR0236》2021 青木 野枝 晴玉1 2004 コールドテン 鋼 260.0×210.0×230.0

《Treatise on Light_HR9991》2021 アーカイバルビッグメントプリント 25.4×20.3 作家蔵

《Treatise on Light_HR0017》2021 アーカイバルビッグメントプリント 40.5×50.7 作家蔵

《所有の方法、観察(時間と母)》2021 サイアノタイプ 40.0×29.5 作家蔵

《所有の方法、観察(二の丸、15分間)》2021 サイアノタイプ 32.0×24.0 作家蔵

《所有の方法、観察(海辺1)》2021 サイアノタイプ 29.5×21.0 作家蔵

《所有の方法、観察(海辺2)》2021 サイアノタイプ 29.5×21.0 作家蔵

《Released, Piled Up, and Will Be Released Again After a While.》2021

・N07a7-02 (マルバヤナギ, Giant pussy willow, Salix chaenomeloides)

・E19a56-01 (クシノキ, Camphor tree, Cinnamomum camphora)

・E17b34-01 (シダレヤナギ, Weeping willow, Salix babylonica)

・E18a39-01 (ソメイヨシノ, Yoshino cherry, Cerasus x yedoensis)

葉、シャーレ、発色現像方式印画、カラーネガフィルム 13.0×18.0(印画紙) 6.1×7.3(カラーネガフィルム) 作家蔵

《休眠していた画像たち 広島、オランダ、そして広島の光》2021 スライドショー 78分52秒 作家蔵

《光の装置》2023 サイアノタイプ、イチョウ 29.0×26.0 作家蔵

《光の装置》2023 サイアノタイプ、マルバヤナギ 29.0×26.3 作家蔵

黒田 大スケ

《彫刻家達》2022-23 15本のビデオ 127分50秒 作家蔵

《自由の女神について》2022 ビデオ 12分20秒 作家蔵

《彫刻家のテーブル》2023 ミクストメディア 可変 作家蔵

村上 友重＋黒田 大スケ

ヒロシマイト関連資料